

# 高等部における地域の人材や、資源を 活用した教育活動の在り方について

令和 2 年度（2020年度）第 2 回学校運営協議会 資料

# 令和2年度北海道釧路養護学校の重点教育目標

「主体的で・対話的で深い学びの視点を大切にした授業づくりの推進」

～ **社会に開かれた教育課程** の創造に向けて ～

# 社会に開かれた教育課程

## 3つのポイント

- ①社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を持ち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと。
- ②これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合い、自らの人生を切り開いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化しはぐくんでいくこと。
- ③教育課程の実施に当たって、**地域の人的・物的資源を活用したり**、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを**社会と共有・連携しながら実現**させること。

中教審答申平成28年12月21日

# 令和2年度北海道釧路養護学校高等部の取り組み



# 総合的な探求の時間



# 総合的な探求の時間

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、事故の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになる。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

# 総合的な探求の時間

## • 校外体験学習 ＜地域資源の活用＞



- (1) 市内各地の公共施設や周辺の建物を調べ、自分たちの生活との関係や役割を知る。
- (2) 路線バスや公共施設の利用を通して、交通ルールや公共のマナーを学び実践する。

# 総合的な探求の時間

## •これまでの校外体験学習行先

北海道警察釧路方面本部

釧路市民防災センター

釧路市立美術館

釧路ロイヤルイン

イオン釧路店

イオンモール釧路昭和店

釧路駅

ふみぞの湯

釧路市中央図書館 など

# 総合的な探求の時間

## ・現場実習 ＜地域資源の活用＞



- (1) 施設・事業所等での生活の体験を通し、働く力や地域生活の決まりを学習し、卒業後の地域生活への円滑な移行に向けて生活する力や働く力を高める。
  - (2) これまで学校で取り組んできた学習の成果や課題を確認し、今後の学習活動につなげる。
  - (3) 職場実習を通して、保護者に進路選択について具体的な情報提供を行う。
  - (4) 事業所に、本人の実態を知っていただくとともに、利用の可否の判断を得る。
- ※次年度、指導の形態の変更を検討中。

# 総合的な探求の時間

## •Satolyさんとの交流 ＜人的資源の活用＞



- (1) 地域に、S A T O L Yさんという世界的に活躍する芸術家がいることを知る。
  - (2) 芸術家の指示や手法で芸術活動に取り組んだり、アドバイスをもらいながら活動することができる。
  - (3) S A T O L Yさんと主体的に関わることができる。
- ※次年度、指導の形態の変更を検討中。

# 総合的な探求の時間

## ・交流及び共同学習（明輝高校との交流）

＜地域の資源活用・人的資源の活用＞

- （１）生活経験を広げ、好ましい人間関係の形成を図る機会とする。
- （２）集団の中で個性を発揮したり、共に活動したりすることを通して、集団生活への適応力の向上を図る。
- （３）話し合い活動をとおして、企画運営を行うことができる。

※次年度、指導の形態の変更を検討中。



# 特別活動



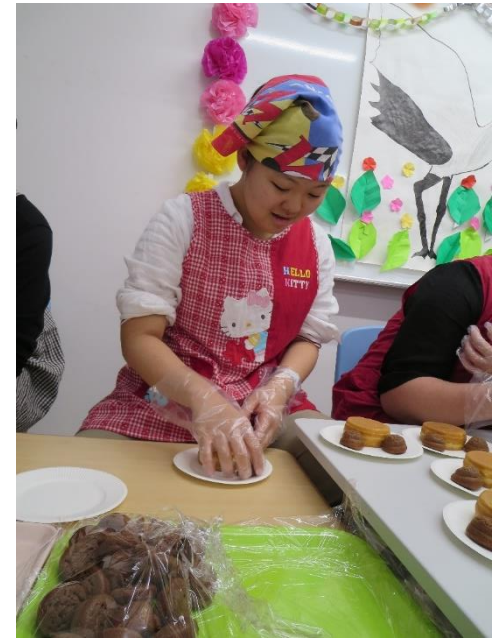
# 特別活動

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して，次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活，人間関係の課題を見いだし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的，実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，主体的に集団や社会に参画し，生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての在り方生き方についての自覚を深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。

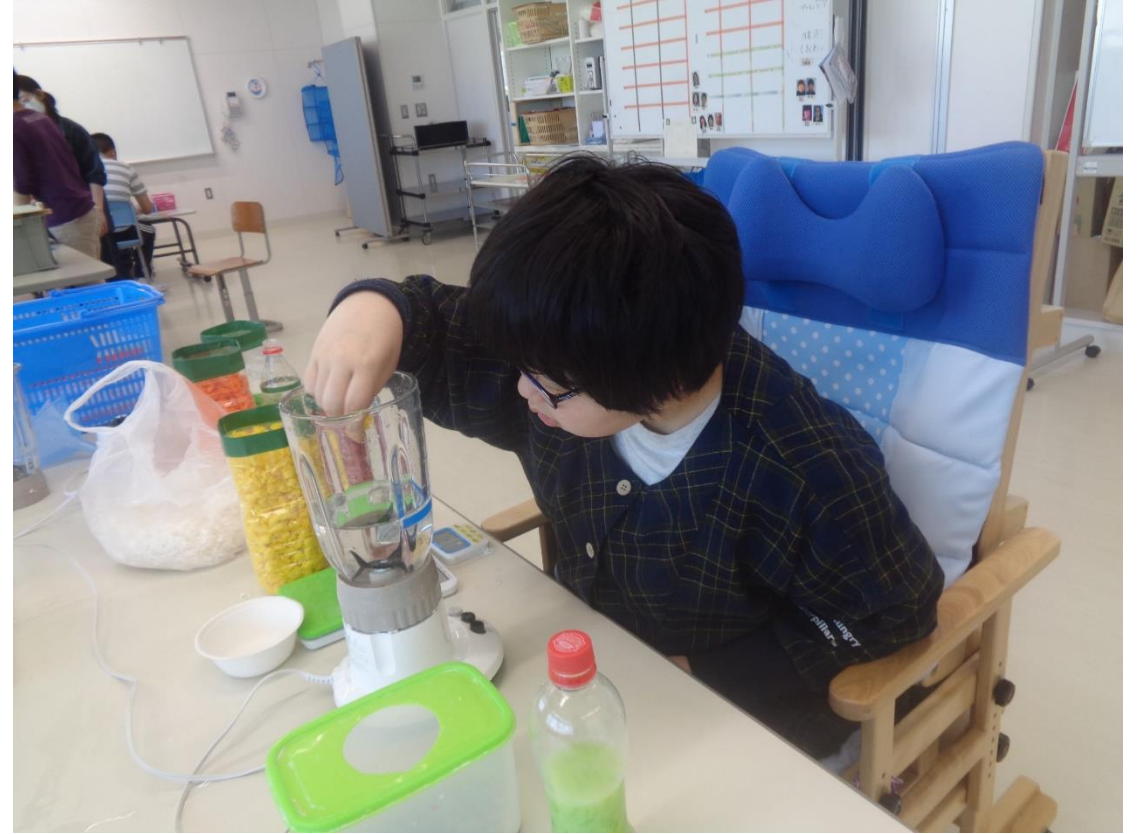
# 特別活動

## ・ひまわりフェスタ ＜人的資源の活用＞



- (1) 日常の学習で取り組んでいる内容やその成果を十分に発揮し、保護者や地域の方に見てもらう。
- (2) それぞれの活動を通して、保護者や地域の方に自分たちの活動によって楽しんでもらえる喜びを味わう。
- (3) それぞれの活動を通して、地域の人たちや日ごろお世話になっている人たち、卒業生との交流を深める。

# 作業学習



# 作業学習

作業学習は、作業活動を学習活動の中心にしながら、生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習するものである。

とりわけ、作業学習の成果を直接、生徒の将来の進路等に直結させることよりも、生徒の働く意欲を培いながら、将来の職業生活や社会自立に向けて基盤となる資質・能力を育むことができるようにしていくことが重要である。

特別支援学校学習指導要領解説  
知的障害者教科等編（上）より

# 作業学習

## • 清掃班



# 作業学習

## • 紙工班



# 作業学習

## • 手芸班



# 作業学習

## ・リサイクル班（校外） ＜地域資源の活用＞



- （１）一輪車や二輪車を操作する力を身に付ける。
- （２）自動車や歩道の障害物を確認し、安全に留意して歩く力を身に付ける。
- （３）友達の作業が終わるまで待つことや、順番を守って資材を置く力を身に付ける。

# その他の取り組み



# 総合的な探求の時間

## •外国語指導助手との交流 ＜人的資源の活用＞

- (1) 英語やボディランゲージを使ってALTとコミュニケーションを取ることができる。
- (2) ALTの話を聞くことができる。
- (3) 事前に学習している自己紹介ができる。



# 特別活動

## •音楽鑑賞会

< 人的資源の活用 >



本物の演奏を見たり、聞いたり、感じたりすることで、音楽の素晴らしさに触れ、親しむことができる。

# 生活単元学習

生活単元学習は、生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、自立や社会参加のために必要な事柄を実際的・総合的に学習するものである。

生活単元学習では、広範囲に各教科等の目標や内容が扱われる。生活単元学習の指導では、生徒の学習活動は、実際の生活上の目標や課題に沿って指導目標や指導内容を組織することが大切である。

特別支援学校学習指導要領解説  
知的障害者教科等編（上）より

# 生活単元学習

## ・買い物学習

### < 地域資源の活用 >



お小遣いの使い方など計画的な金銭の取り扱い方を考える。  
(宿泊研修に向けて)

作りたいメニューを考え、必要な材料を買うことができる。  
(調理学習)

# 生活単元学習

## •花見に行こう ＜地域資源の活用＞



- (1) 学年の仲間と協力して、お花見の事前学習に取り組むことができる。
- (2) 自分の役割を理解して、お花見の活動に参加することができる。
- (3) 桜は春に咲く花であることを、花見を通して感じるすることができる。

## 今後に向けて

- ・ 目的をより明確にした学習内容の設定と、それに応じた地域資源の活用について、地域資源・人的資源の新規開拓が必要である。